



香港事務所

# NCB 海外レポート

## 香港『食』のビジネスチャンス③

### ～香港における日本食レストラン～

#### ◇ 外食の花形“日本食”

- ・香港の街中には至るところに日本食レストランがあり、食事時になるとどこも長蛇の列が出来ています。香港のレストラン情報サイト「Open Rice」には、2022年2月15日現在、3,806軒の日本食レストランが登録されていて、これは香港地場の飲食店を除くと広東料理(4,144軒)に次ぐ件数で、その他のジャンルの飲食店とは3倍以上の開きがあります。
- ・日本食レストランの業態は多岐にわたっており、寿司店を例に挙げると、ミシュラン3つ星店から回転寿司、大衆店までさまざまです。また日系資本だけでなく、現地資本の寿司屋も数多く展開しています。



香港の地元客で賑わう  
日本食レストラン

#### ◇ 進出形態に見る飲食店の特徴

- ・日本から店舗展開している飲食店には単独出資と、現地企業との合弁があり、各々に特徴があります。
- ・単独出資の企業では、日本の味やサービスの維持を徹底した「日本ブランド」をアピールした事業展開が多く、日本で大衆居酒屋を展開している企業も、香港では高級店を展開し洗練された日本食を提供している事例があります。
- ・一方、現地企業との合弁のケースでは、干アワビなどの現地食材を取り入れたオリジナルメニューを提供するなど、現地の嗜好に合わせて柔軟にローカライズしているのが特徴です。



高級感のある日本食



干アワビ入りのラーメン

#### ◇ 今後の更なる日本食の進化に期待

- ・昨年12月24日のクリスマスイブに、香港の繁華街にある日本の有名ラーメン店へ行ったところ、店内では多くの若い男女や家族連れが美味しそうにラーメンを食べていました。日本では大衆食であるラーメンも、香港ではクリスマスに食べるご馳走になっているのです。
- ・時には日本では想像できないような組み合わせの日本食にも遭遇しますが、それも一種の進化と捉えつつ、香港での日本食の更なる拡大を期待するとともに、個人的には「博多うどん」の香港進出を心待ちにしています。



オムライスとウナギの  
マリアージュ？

2022年2月15日作成

西日本シティ銀行香港駐在員事務所